

資料6

森づくりの基本的な活動 と 安全対策について

はじめに


- 森づくり活動の前提とは？ ⇒ 安全
- みなさんの団体での立場は？ ⇒ 安全リーダー
- 安全な方法を自分だけが「知っている」では不十分
知らない人に教えることで、団体の事故防止

リーダー
知識があるにもかかわらず、黙認することは、
注意義務(安全配慮義務)違反

安全方法⇒ハンドブックや講習等を参考
ハンドブックには書ききれなかったことをPPTで説明

安全リーダー チェックリスト(配布資料3)

- 事前確認 16項目
 - 11. 気象条件は適しているか？
 - 12. 作業に適した道具があるか？ etc.
- 直前確認 13項目
 - 1. 安全な作業方法を伝えたか？
 - 8. ヘルメットの着用は大丈夫か？ etc.
- 作業時確認 6項目
 - 5. 無理な体勢で作業をしていないか？ etc.



➡ 第四回講習会で実技講習を予定


その1: 事前確認(天候) P8

事前チェック
天候は、テレビやインターネットで必ずチェックしておきましょう。

	天候	その他
前日	<ul style="list-style-type: none"> ・天気、降水確率とともに気象状況もチェック ・キーワード「大気の状態が不安定」「急な雨に注意」「雷」 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の点検 ・参加予定者リストの確認
当日(外出前)	<ul style="list-style-type: none"> ・天気予報を確認 ・最新の気象情報をチェック ・活動時の気象状況をイメージする 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調 ・服装 ・スケジュールの確認

8

HP 気象庁 レーダー・ナウキャスト



気象庁: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>


小雨でも、雷の恐れ

HP 神戸市降雨情報システム ~レインマップ~




神戸市降雨情報システム: <http://rainmap-kobe250.jp/>

造林鎌の運搬



怪我の恐れ 大

その5 森の危険な動植物(P30) (配布資料4)



ハチに刺されないためには

- 黒色の服はさける
- ハチは自分の体と巣を守るために刺す
- こちらが先にハチを見つけて避けるのが最善策
- ハチが巣を作る場所に注意
- スズメバチの働き蜂は7月以降に増加
ピーク 9~10月

- スズメバチ: 樹洞、土中、茂みの中、木の上、祠、あずまやなど
- アシナガバチ: 木の枝や葉の裏

常に落ち着いてハチを探す

樹液のオオスズメバチに注意

- オオスズメバチだけは巣以外の餌場にいるハチが刺しにきます。注意！



森づくりでは樹液の出るクヌギやコナラ、アベマキを植えています。

活動地でできるハチ予防(秋)

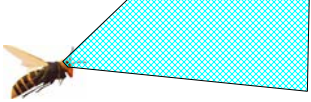
- ハチの羽音に注意する。
- 活動を始める前に、コナラやアベマキの樹液にオオスズメバチが来ていないか確認する。
- 活動地の周辺にスズメバチが複数飛んでいる場所があれば、ハチの動きを観察し、巣がないかを確認する。
- ハチが水を集めていたら巣が近い。注意。

ハチを警戒させてしまったら

- 大顎で「カチカチッ」という音をたてる
- 目標に顔を向けたまま、左右に円弧を描いて飛ぶ(対象までの距離を測っている)

ハチが襲ってきたら

- 落ち着いて警戒範囲の外に出る
 - スズメバチなら10m程度、素早く巣の反対の方向に立ち去る
- ハチをつぶしたり、手で振り払ったりしない
- しゃがむ



応急処置(P33)

ハチに刺されたら

- ポイズンリムーバで毒を抜く
- 傷口を流水でよく洗い流し、手で毒を絞り出す
- 患部に虫刺され薬(抗ヒスタミン軟膏)を塗る
- 頭が痛いなどのアレルギー症状があれば、速やかに医師の診察を受ける

昔から言われている方法も効果的！？

- ナイフ等で傷口を開けない
- アンモニア(尿)を患部にかける

やめておきましょう

その6 その他 伐採木の処理(P17)

市民は活動していない時の森を見ている




安全に気を付けて、
楽しい森づくりを継続してください

みなさんが、キーパーソンです

以上